

令和3年度第1回おおさかプラスチック対策推進プラットフォーム会議 議事概要

日時：令和3年9月29日（水）13時～15時

場所：咲洲庁舎44階大会議室（WEB会議併用）

■議事概要

(1) おおさかプラスチック対策推進プラットフォームの設置について

- ・事務局（大阪府エネルギー政策課）より参考資料1（設置要綱）及び資料1に沿って説明
- ・花田教授を議長として事務局提案

〈ご質問・ご意見〉

特になし

(2) プラスチックごみ対策の現状について

- ・大阪商業大学 原田准教授より資料2-1に沿ってご報告
- ・日本プラスチック工業連盟 加藤専務理事より資料2-2に沿ってご報告
- ・全国清涼飲料連合会 那須企画部長より資料2-3に沿ってご報告
- ・花王株式会社 南部センター長より資料2-4に沿ってご報告
- ・大阪市 川戸課長代理より資料2-5に沿ってご報告
- ・東大阪市 松倉課長より資料2-6に沿ってご報告

〈ご意見・ご発言等〉

- ・あらゆる主体が知恵を出し合っとうまい回収の仕組みを作っていくことが大切であり、この会議に期待するものは大きい（大阪産業大学 花田教授）
- ・全国清涼飲料連合会は先進的な取組みをされている。ぜひこのプラットフォームを活用し、ご助言いただきたい（花王 南部センター長）
- ・市民への啓蒙・啓発だけでなく、無駄なプラスチック削減につながるような取組みの支援や制度作りも行政の役割であるため、行政と一緒に取り組むべき、あるいは行政にお願いしたいことなどあれば教えていただきたい（大阪商業大学 原田准教授）
- ・詰め替え容器の水平リサイクルを目指す取組み「神戸プラスチックネクスト～みんなでつなげよう。つめかえパックリサイクル～」が始動しているが、これは技術的には可能

なのか（花田教授）

⇒CLOMA を活用しながら様々な方に参画いただいて神戸市と取組みを始めたもので、リサイクルは、同業他社とも連携し、技術公開しながら和歌山工場の設備で開発を進めていく。

回収についても、様々な業界に加わってもらい新しい仕組みを作っていくというのが大きいところ（花王 南部センター長）

（3）今後の進め方について

・事務局（大阪府エネルギー政策課）より資料3に沿って説明

以下2つの分科会を提案

① プラスチック流出対策分科会

⇒テーマが明確に決まっているため直ちに進めていきたい

② 排出抑制事業スキーム分科会

⇒具体的にどのような取組みを行うか、もう少し分科会で検討したうえで進めていきたい

〈ご質問・ご意見〉

・分科会の名前について、排出抑制と回収がつながりにくいいため、回収推進分科会と排出抑制分科会に名前を分けておいて一緒に分科会をするなどの工夫をするのはいかがか。回収の重要性を強くアピールする方が効果的ではないか（日本プラスチック工業連盟 加藤専務理事）

⇒分科会の名前については、事務局で1度預かり、再度確認したい。取り組む内容については、ご説明した内容で進めていきたい（事務局）

○2つの分科会を設置し、まずは提案のあった内容で進めていくことでよろしいか

⇒特に異論なし

（4）その他

〈お知らせ〉

・ごみ減量連続セミナー開催について、ごみゼロネット大阪 北井副代表理事よりご紹介（参考資料3）

〈ご質問・ご意見等〉

・年内に分科会を立ち上げて、来年の予算に計上して分科会の事業を進めるという理解でよいか（花王 南部センター長）

⇒おっしゃるとおり。モデル事業ができるよう予算計上したい（事務局）

- ・身近なところで川上から川下につなげるような製品の開発など、もう1段階上のところを
考えていく必要がある。消費者の意見も汲みつつ、川上とどのように手を結ぶかというこ
とについて、ぜひ大阪府は両方の事業者とうまく連携しながら取り組んでほしい
(大阪大学 宇山教授)

 - ・花王さんが環境負荷低減のためすぎ一回の洗剤を開発したところ、結果時短となり洗濯
機も時短でできるものが増えたように、つながりでできることは多くある。
本プラットフォームは多くをカバーしているので、ここから大きくシステムを変えてい
く、というところに踏み込んでいかないとなかなか解決には至らない(花田教授)

 - ・洗濯から漏れる繊維がマイクロプラスチックの1/3なので洗濯機メーカーの協力も必要、
そこまで踏み込むことも大事(宇山教授)

 - ・繊維くずが出にくくなるような洗剤を検討中。ESG 視点に立った製品開発も非常に大切
(花王 南部センター長)
- 本日いただいた意見も踏まえて検討しながら、ご了承いただいた内容で本プラットフォ
ームを進めていきたい(事務局)
- 分科会の参加希望の照会、日程調整について事務局より近日中に実施予定